



# 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社アスモ

コード番号 2654 URL <http://www.asmo1.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 長井 尊

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室室長

(氏名) 岡田 秀樹

TEL 06-6683-3101

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	4,486	19.1	375	6.0	364	10.1	305	△5.6
24年3月期第2四半期	3,768	△12.9	354	314.6	331	—	323	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 313百万円 (0.9%) 24年3月期第2四半期 310百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	2.18	—
24年3月期第2四半期	2.31	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	3,133	1,742	51.8	11.58
24年3月期	2,957	1,429	44.8	9.44

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 1,623百万円 24年3月期 1,324百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,724	10.6	744	△5.7	732	△3.9	630	△33.9	4.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	151,451,750 株	24年3月期	151,451,750 株
25年3月期2Q	11,242,601 株	24年3月期	11,242,601 株
25年3月期2Q	140,209,149 株	24年3月期2Q	140,209,149 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は、平成24年7月1日より会社名を「シンワオックス株式会社」から「株式会社アスモ」に変更いたしました。

2. (将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	P. 3
3. 四半期連結財務諸表 .....	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	P. 8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	P. 9
(6) セグメント情報等 .....	P. 9
(7) 重要な後発事象 .....	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかな回復が続きましたが、欧州債務問題の再燃による世界経済の減速懸念や円高の長期化等により、先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、給食事業を収益の柱として一層の向上を図るとともに、その他の事業についても安定的な収益の確保に向け取り組んでおり、当第2四半期連結会計期間において、当社100%子会社である株式会社アスモ介護サービスを設立し、今後の成長が見込める訪問介護の分野に進出いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高4,486百万円（前年同四半期比 19.1%増）、営業利益375百万円（前年同四半期比 6.0%増）、経常利益364百万円（前年同四半期比 10.1%増）となりましたが、当第2四半期連結累計期間における四半期純利益は、法人税等及び少数株主利益が増加したことにより305百万円（前年同四半期比 5.6%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ① 卸売事業

卸売事業におきましては、東日本大震災及び焼肉店における集団食中毒事件から1年が経過し、徐々に回復傾向にありましたが、生食に対する規制が強化されるなど食肉業界におきましては需要の冷え込みが未だ続いております。当社が取り扱っている商品におきましても、牛肉・豚肉の販売において焼肉店向け商品の価格の下落等があり、利益に影響をおよぼしました。しかしながら、既存顧客に対する継続販売を中心に強化し、牛肉のみではなく豚肉等の低価格商品の取り扱いを増やした結果、売上高・利益額共に増加いたしました。

結果、卸売事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、871百万円（前年同四半期比 45.5%増）、営業利益は、34百万円（前年同四半期比 146.6%増）となりました。

#### ② 外食事業

外食事業におきましては、連結子会社であるOX (H. K.) COMPANY LIMITEDが、香港にて日本食の外食店舗を運営しており、既存店舗の強化（改装、メニュー変更等）に努めております。

結果、外食事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、643百万円（前年同四半期比 14.9%増）となり、営業利益は、53百万円（前年同四半期比 220.9%増）となりました。

#### ③ 給食事業

給食事業におきましては、高齢者介護施設の給食受託が順調に増加し、安定的な収益確保に寄与しております。また、公共施設の給食等受託に向けた取り組みで、長期的な成長に向け新たな基盤の開発・強化に努めております。

結果、給食事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,837百万円（前年同四半期比 15.1%増）、営業利益は、352百万円（前年同四半期比 4.9%減）となりました。

#### ④ 介護事業

介護事業におきましては、株式会社ベストライフの開設した高齢者介護施設の入居斡旋業務に加え、当第2四半期連結会計期間において、当社100%子会社である株式会社アスモ介護サービスを設立し、訪問介護事業所の開設を行い訪問介護の分野に進出いたしました。

結果、入居斡旋業務については、前期に開設した高齢者介護施設の前第4四半期中の前倒し需要が影響し、訪問介護については、事業の開始まもないことから、介護事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、134百万円（前年同四半期比 7.0%減）、営業利益は、76百万円（前年同四半期比 28.7%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は3,133百万円となり、前連結会計年度末に比べ176百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が135百万円、たな卸資産が64百万円増加したことによるものであります。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は1,391百万円となり、前連結会計年度末に比べ137百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が180百万円減少したことによるものであります。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,742百万円となり、前連結会計年度末に比べ313百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益305百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は51.8%（前連結会計年度末は44.8%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、802百万円となり、前連結会計年度末より135百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、385百万円（前年同四半期は234百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益362百万円、たな卸資産の増加66百万円、法人税等の支払額42百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、55百万円（前年同四半期は39百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出44百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、181百万円（前年同四半期は136百万円の支出）となりました。これは、短期借入金及び長期借入金の返済によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月14日の「平成24年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	666,265	802,243
受取手形及び売掛金	843,451	819,065
商品	160,289	222,143
貯蔵品	12,089	14,481
その他	277,899	273,849
貸倒引当金	△471	△503
流動資産合計	1,959,522	2,131,281
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	515,283	526,790
有形固定資産合計	515,283	526,790
無形固定資産		
のれん	408,143	393,321
その他	2,229	2,113
無形固定資産合計	410,372	395,435
投資その他の資産		
その他	409,663	414,405
貸倒引当金	△337,291	△334,164
投資その他の資産合計	72,371	80,240
固定資産合計	998,027	1,002,466
資産合計	2,957,550	3,133,747
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	316,493	327,817
短期借入金	626,208	446,208
未払金	325,143	336,119
未払法人税等	24,013	48,377
賞与引当金	36,963	49,517
返品調整引当金	10,193	8,460
その他	153,894	162,713
流動負債合計	1,492,910	1,379,214
固定負債		
長期借入金	12,110	9,458
退職給付引当金	—	276
その他	23,107	2,107
固定負債合計	35,218	11,843
負債合計	1,528,128	1,391,058

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,272	2,323,272
資本剰余金	2,374,344	2,374,344
利益剰余金	△3,368,825	△3,063,435
自己株式	△42,303	△42,303
株主資本合計	1,286,488	1,591,877
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	37,577	31,340
その他の包括利益累計額合計	37,577	31,340
少数株主持分	105,356	119,471
純資産合計	1,429,421	1,742,689
負債純資産合計	2,957,550	3,133,747

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	3,768,236	4,486,581
売上原価	2,591,523	3,207,687
売上総利益	1,176,712	1,278,894
返品調整引当金戻入額	4,244	10,193
返品調整引当金繰入額	4,769	8,460
差引売上総利益	1,176,187	1,280,626
販売費及び一般管理費	821,367	904,642
営業利益	354,819	375,983
営業外収益		
受取利息	95	82
貸倒引当金戻入額	4,739	1,195
受取手数料	732	673
助成金収入	—	769
その他	451	593
営業外収益合計	6,018	3,313
営業外費用		
支払利息	9,770	5,783
為替差損	9,529	7,277
その他	10,072	1,298
営業外費用合計	29,372	14,360
経常利益	331,466	364,937
特別損失		
固定資産売却損	240	36
会員権売却損	—	804
和解金	—	1,300
特別損失合計	240	2,141
税金等調整前四半期純利益	331,225	362,795
法人税、住民税及び事業税	6,849	37,298
法人税等合計	6,849	37,298
少数株主損益調整前四半期純利益	324,375	325,497
少数株主利益	913	20,107
四半期純利益	323,462	305,389



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	324,375	325,497
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△13,949	△12,229
その他の包括利益合計	△13,949	△12,229
四半期包括利益	310,426	313,267
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	316,348	299,152
少数株主に係る四半期包括利益	△5,921	14,115

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	331,225	362,795
減価償却費	27,274	28,465
のれん償却額	14,821	14,821
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	525	△1,732
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,309	△3,095
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	—	276
賞与引当金の増減額 (△は減少)	11,375	12,709
受取利息及び受取配当金	△95	△82
支払利息	9,770	5,783
株式交付費償却	7,539	—
為替差損益 (△は益)	10,282	7,608
有形固定資産売却損益 (△は益)	23	36
無形固定資産売却損益 (△は益)	217	—
会員権売却損益 (△は益)	—	2,704
売上債権の増減額 (△は増加)	△31,144	21,971
その他の資産の増減額 (△は増加)	31,495	4,240
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△53,484	△66,479
仕入債務の増減額 (△は減少)	8,617	12,609
その他の負債の増減額 (△は減少)	△60,046	47,657
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△8,700	△11,247
その他	215	929
小計	294,601	439,973
利息及び配当金の受取額	95	82
利息の支払額	△46,722	△12,267
法人税等の支払額	△13,902	△42,349
営業活動によるキャッシュ・フロー	234,071	385,439
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△42,139	△44,641
有形固定資産の売却による収入	0	12
差入保証金の差入による支出	△147	△3,371
差入保証金の回収による収入	1,263	—
会員権の売却による収入	—	2,195
貸付金の回収による収入	1,061	786
保険積立金の積立による支出	—	△10,946
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,961	△55,965
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△135,000	△180,000
長期借入金の返済による支出	△1,872	△1,952
財務活動によるキャッシュ・フロー	△136,872	△181,952
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14,126	△11,543
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	43,110	135,978
現金及び現金同等物の期首残高	357,925	666,265
現金及び現金同等物の四半期末残高	401,036	802,243

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	卸売事業	外食事業	給食事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	599,224	559,415	2,465,206	144,390	3,768,236	—	3,768,236
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	599,224	559,415	2,465,206	144,390	3,768,236	—	3,768,236
セグメント利益	13,883	16,769	370,492	106,974	508,118	△153,299	354,819

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	508,118
セグメント間取引消去	—
のれんの償却額	△12,180
全社費用(注)	△141,118
四半期連結損益計算書の営業利益	354,819

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	卸売事業	外食事業	給食事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	871,784	643,046	2,837,439	134,310	4,486,581	—	4,486,581
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,439	—	76	—	1,515	△1,515	—
計	873,224	643,046	2,837,515	134,310	4,488,097	△1,515	4,486,581
セグメント利益	34,238	53,817	352,483	76,264	516,803	△140,819	375,983

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	516,803
セグメント間取引消去	157
のれんの償却額	△12,180
全社費用(注)	△128,743
たな卸資産の調整額	△52
四半期連結損益計算書の営業利益	375,983

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第2四半期連結会計期間において、株式会社アスモ介護サービスを新たに設立したことに伴い、連結の範囲に含めております。当該会社の報告セグメントは「介護事業」としております。

なお、当該変更に伴う報告セグメントの業績及び資産への影響は軽微であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

新設分割による分社化について

当社は、平成24年10月26日開催の取締役会において、平成25年4月1日(予定)を効力発生日として、卸売事業及び給食事業の有する権利義務等を会社分割により、新たに設立する株式会社アスモレーディング及び株式会社アスモフードサービスに承継させることを内容とする新設分割計画(以下、「本新設分割」といいます。)を決議いたしました。

本新設分割の概要は以下のとおりであります。

1. 会社分割の目的

当社は、食肉卸売事業、給食事業及び介護福祉施設入居斡旋事業を営んでおり、さらに、平成24年7月2日付で株式会社アスモ介護サービスを100%子会社として設立し訪問介護事業を新たに開始いたしました。

このような状況の中、①それぞれの事業分野において専門化・特殊化が進む市場への迅速・的確な対応 ②事業分野に適応した人材の育成・教育・採用 ③事業分野に特化した判断による業務の効率化 ④経営責任の明確化 ⑤将来を担う経営者の育成 を目的として、卸売事業を営む会社、給食事業を営む会社を新設分割の方法により設立いたします。

なお、当社は平成23年1月31日開催の臨時株主総会において給食事業にかかる新設分割の中止を決議しておりますが、当時と比較して、前記①及び②の必要性が増しており、その対応が経営の急務であると判断し今般の決議に至りました。また、このことにより前記③・④・⑤の効果を上げ経営の効率化を図ってまいります。

2. 会社分割する事業内容及び規模

(1) 分割する部門の主な事業内容

- ① 卸売事業…牛肉・豚肉・食肉加工品の販売
- ② 給食事業…高齢者福祉施設における給食サービスの提供

(2) 分割する事業部門の経営成績(平成24年3月期)

① 卸売事業

	卸売事業 (a) (千円)	当社 (b) (連結) (千円)	比率 (a/b) (%)
売上高	1,276,688	7,891,444	16.2
営業利益	23,940	789,452	2.9

② 給食事業

	卸売事業 (a) (千円)	当社 (b) (連結) (千円)	比率 (a/b) (%)
売上高	5,074,247	7,891,444	64.3
営業利益	702,752	789,452	89.0

3. 会社分割の形態

当社を分割会社とし、株式会社アスモレーディング及び株式会社アスモフードサービスを新設会社とする分社型の新設分割であります。

4. 割当の内容

新設会社となる株式会社アスモレーディング及び株式会社アスモフードサービスは、普通株式1,000株を発行し、すべてを分割会社である当社に割当交付するものであります。

5. 会社分割に係る分割会社又は新設会社の概要

(1) 会社分割後の上場会社（分割会社）の状況

商号	株式会社アスモ
事業内容	グループ各社の経営管理
設立年月日	昭和50年4月26日
本店所在地	大阪府大阪市住之江区北加賀屋五丁目7番30号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 長井 尊
資本金	2,323,272千円
発行株式数	151,451,750株
決算期	3月31日

(2) 新設会社

① 卸売事業

商号	株式会社アスモレーディング
事業内容	牛肉・豚肉・食肉加工品の販売。他
設立年月日	平成25年4月1日（予定）
本店所在地	大阪府大阪市住之江区北加賀屋五丁目7番30号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 奥田 宏
資本金	10,000千円
発行株式数	1,000株
純資産	140,304千円
総資産	332,077千円
負債	191,772千円
決算期	3月31日
大株主及び持株比率	株式会社アスモ 100%

(注) 純資産、総資産及び負債については、平成24年8月31日現在の貸借対照表に基づき算出したものであるため、分割の効力発生時点における純資産、総資産及び負債の額と異なる可能性があります。

② 給食事業

商号	株式会社アスモフードサービス
事業内容	給食事業の請負及び管理。他
設立年月日	平成25年4月1日（予定）
本店所在地	東京都新宿区西新宿三丁目2番7号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 長井 尊
資本金	10,000千円
発行株式数	1,000株
純資産	198,233千円
総資産	635,437千円
負債	437,204千円
決算期	3月31日
大株主及び持株比率	株式会社アスモ 100%

(注) 純資産、総資産及び負債については、平成24年8月31日現在の貸借対照表に基づき算出したものであるため、分割の効力発生時点における純資産、総資産及び負債の額と異なる可能性があります。

6. 会社分割の日程

臨時株主総会基準日	平成24年9月30日
取締役会	平成24年10月26日
臨時株主総会	平成24年12月19日
分割期日及び新設会社の設立登記日	
① 卸売事業	平成25年4月1日（予定）
② 給食事業	平成25年4月1日（予定）
株券交付日	
① 卸売事業	平成25年4月1日（予定）
② 給食事業	平成25年4月1日（予定）